

ダイナミックな

風景を楽しむ

五島・福江島

大

小百五十余りの島々からなる五島列島。中でも最も大きな島が福江島だ。遣唐使ゆかりの地として知られているほか、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産や

関連スポットをつなぐ「巡礼の道」の一部にもなっている。

教会めぐりやマリンスポーツなど、島の楽しみ方はいろいろあるが、雄大な自然を満喫できるのも福江島の大きな魅力。四季折々で表情を変える島のシンボル「鬼岳」。その鬼岳火山から流出した溶岩に、海が覆ってきた「鏡瀬熔岩海岸」は、変化に富んだ海岸線が七キロメートルも続く圧巻の景色。白い砂浜が広がる島自慢の「高浜海水浴場」や、そそり立つ断崖の上に建つ白亜の「大瀬崎灯台」など、行く先々でドラマチックな風景と出合うことができる。

また近年は移住者が増え、新たな動きも見られる。カフェやショップなどのオシャレなスポットと、昔ながらの町並みが織りなす独特の雰囲気はこの島ならではの。

福江島へは長崎港から船、または長崎空港・福岡空港から飛行機で。気軽に行ける島旅を楽しみたい。



大自然の中に行む真っ白な姿が美しい「大瀬崎灯台」。
五島列島の最西端に位置し、九州で最後の夕日を見ることができる場所としても知られている。